

(財)福島県文化振興財団助成事業

安積合唱協会

ASAKA Chorverein

第21回定期演奏会

21.Abonnementkonzert

本日はお忙しい中、第21回定期演奏会にご来場いただき誠にありがとうございます。

東日本大震災から間もなく3年を迎え、多くの皆様のご支援により本日の演奏会を開催できますことはこの上ない喜びであり、ご支援を賜りました皆様に心より感謝申し上げます。

当協会は、1992年の結成以来、中世・ルネッサンス・バロック時代の甘く美しい教会音楽を中心に演奏活動を続け、これまで、定期演奏会のほか、国内の合唱コンクールやアンサンブルコンテスト、さらにはドイツ、オーストリア、フランスでの海外公演など、幅広い演奏活動を展開してまいりました。

会員は、県内外に広く在住しているため、全体練習が毎月1～2回程度に限られますが、そのハンデを乗り越えようと、目指す音楽への熱い思いを胸に秘め、これまでの練習に励んでまいりました。

お陰様で、昨年度は皆様の温かいご支援等により創立20年目を迎えることができ、念願の全日本合唱コンクール全国大会への初出場や20周年記念演奏会を実現し、今年度からまた新たな思いで、常任指揮者・宍戸真市先生のご指導のもと、ボイストレーナーの紅林美枝先生に発声指導をいただきながら、練習や演奏活動を展開しております。

昨年3月には、京都府で開催された「復興支援コンサート Harmony for JAPAN 2013」や「第18回音楽都市こおりやま全国合唱祭」に出演したほか、第29回宝塚国際室内合唱コンクールでは、ルネッサンス・バロック部門で銀賞を、さらに、第65回全日本合唱コンクール東北支部大会では金賞を受賞することができました。

東日本大震災の影響下にあっても、このような演奏活動を行うことができたのは、一重に、当協会を支えてくださいます多くの方々の温かいご支援とご協力の賜であり、心より深く感謝申し上げます。

本日は、第1ステージおよび第3ステージで、今年度の全日本合唱コンクールや宝塚国際室内合唱コンクールでの演奏曲として、ヴィクトリア、ブルックナー、メンデルスゾーン、パレストリーナによる様式感溢れる作品をお届けするほか、第2ステージでは、男声合唱および女声合唱による多彩なステージ、そして最終ステージでは覚和歌子の詩による混声合唱曲集「等圧線」を演奏します。いずれも古今東西を代表する名曲であり、皆様にもお馴染みの曲もあろうかと思しますので、どうぞ最後までお楽しみください。

ふるさと・福島の再生に向けて、東日本大震災等からの復旧・復興の取り組みが進められている中、私たち自身がこれまで以上に元気に演奏活動を展開し、絆で結ばれた仲間とともに美しいハーモニーを創り上げ、一人でも多くの方々に届けていくことが、合唱王国「ふくしま」の復興の証になるものと信じています。

創立21年のスタートの年を迎え、これからも、会員相互そして皆様との絆を大切にしながら、これまで築き上げてきた演奏スタイルを基本に、優れた音律（チューニング）と各声部の完璧な調整（ブレンド）を備えたオンリーワン合唱団を目指して、また新しい歴史をしっかりと刻んでまいりたいと思えます。

最後に、本日の演奏会にあたり、ご来場いただきました皆様、更には協賛団体、賛助会員はじめ関係者の皆様に重ねて御礼申し上げ、あいさつとさせていただきます。

安積合唱協会

日時／2014年2月16日(日) 13:30開場 14:00開演

場所／三春交流館「まほら」まほらホール

主催／安積合唱協会

後援／三春町教育委員会・福島民報社・福島民友新聞社・朝日新聞福島総局・NHK福島放送局・福島テレビ・福島中央テレビ・テレビユー福島・福島放送・ラジオ福島・ふくしまFM・福島県合唱連盟・郡山市音楽連盟



O Magnum Mysterium

偉大な神秘 (Tomás Luis de Victoria 作曲)

Virga Jesse

エッセイの枝は花開き (Anton Bruckner 作曲)

Denn er hat seinen Engeln befohlen

主は御使いに命じ (Felix Mendelssohn Bartholdy 作曲)

指揮：宍戸 真市



男声 La déploration sur la mort de Johannes Ockeghem

オケゲムの死を悼む挽歌 (Josquin des Prés 作曲)

Beglückt darf nun dich

巡礼の合唱 (Wilhelm Richard Wagner 作曲)

女声 A Ceremony of Carols Op. 28

キャロルの祭典 (Benjamin Britten 作曲)より抜粋

1. Procession 入場
2. Wolcum Yole ようこそクリスマス
3. There is no rose これほどのバラはない
5. As dew in Aprille 4月の露
6. This little Babe この幼い子は
10. Deo Gracias 神に感謝
11. Recession 退場

指揮：宍戸 真市 ピアノ：橋本 絵美



Missa Papae Marcelli

教皇マルチェルスのみサ (Giovanni Pierluigi da Palestrina 作曲)より

1. Kyrie
2. Gloria
3. Sanctus & Benedictus

指揮：宍戸 真市



覚和歌子の詩による混声合唱曲集

「等圧線」 (信長貴富 作曲)

- ・等圧線
- ・からだ
- ・F
- ・リフレイン

指揮：宍戸 真市 ピアノ：橋本 絵美

第1ステージ

ビクトリア

「偉大な神秘」

ビクトリアの肖像画

「偉大な神秘」とは、イエス・キリストの生誕のことです。この曲では、その出来事の様子が巧みに表現されています。歌詞だけでなく、情景までもが目に浮かぶようです。

… 真冬の暗闇に一筋の光が天から差し込んできました。光はだんだん明るくなってきて、あたりはいつの間にかほのかに暖かくなってきました。そんな中、馬小屋で聖母マリアから主イエスが生まれました …

作曲者のビクトリア(Tomás Luis de Victoria 1548-1611)は、第3ステージで登場するパレストリーナ(Giovanni Pierluigi da Palestrina 1525 頃 - 94)とともに後期ルネサンス期の代表的な作曲家です。

パレストリーナの作風が明るく澄みきった響きにあるのに対し、スペイン生まれのビクトリアの作品はほの暗い情念が根底にあるといえます。ときに聴き手（そして歌い手）の心を激しく揺さぶることがあり、これが彼の大きな魅力だともいえるでしょう。

聖母マリアの肖像画

〔歌詞はラテン語〕

O magnum mysterium

おお、(なんと) 偉大な神秘、

et admirabile sacramentum

そして賛嘆すべき秘蹟(であろうか)、

ut animalia viderent Dominum natum

獣どもが見ていたのだ、主がお生まれになり、

jacentem in praesepio.

飼葉桶に横たわっていらっしゃるのを。

O Beata virgo,

おお、祝福されたおとめ、

cujus viscera meruerunt

この方の御胎は、ふさわしいものであった。

portare Dominum Jesum Christum.

主 イエス・キリストを産むのに。

Alleluja!

アレルヤ! (主をほめたたえよ)

ブルックナー

「エッセイの枝は花開き」

ブルックナーの肖像画

エッセイ(ラテン語の発音では「イエッセ」)は人名で古代イスラエルのダヴィデ王の父です。マタイ福音書では、アブラハムからイエス・キリストまでの系譜が長々と記されていますが、エッセイもその途中に登場します。

また、旧約聖書のイザヤ書では、「エッセイの株からひとつの芽が萌えいで、その根からひとつの若枝が育ち、その上に主の霊がとどまる」と預言されています。ここから題材をとった図像は「エッセイの木」と呼ばれ、教会のステンドグラスなどで見ることができます。「エッセイの枝」が「花開いた」とは、イエスが出現したということを比喩的に語ったものです。

この曲の音のスケールの巨大さには圧倒されます。それもそのはず、作曲者のブルックナー(Anton Bruckner 1824-96)は、もともとオーストリアのリンツ市にある聖フローリアン教会のオルガニストだったのです。

パイプオルガン——楽器というよりむしろ装置、あるいは建造物といったほうがふさわしい——の響きで、日々彼は教会の広大な空間を満たしていました。だから彼の作品は合唱曲であっても、オーケストラ用のものであっても、オルガンの重厚な響きを念頭に置いて作曲されているようです。この曲も音域の広さ、音色の多彩さという点で、合唱の限界に迫っているといえましよう。

聖母マリアの肖像画

〔歌詞はラテン語〕

Virga Jesse floruit:

エッセイの枝が花開いた。

Virgo Deum et hominem genuit:

おとめが神にして人である方(=キリスト)を お産みになられた。

pacem Deus redidit,

平和を 神は 再び(人類に) お与えになった。

in se reconcilians ima sumis.

神ご自身において、最も低いものと最も高いものとを和解させたのだ。(最も低いもの=原罪を背負う人間；最も高いもの=神。この歌詞はキリストが人間の姿で現れたことで、原罪が赦されたことを示している)

Alleluja!

アレルヤ! (主をほめたたえよ)

メンデルスゾーン

「主は御使いに命じ」

メンデルスゾーンの肖像画

この曲の歌詞の内容は、「神様からの命令を受けて、御使い(みつかい=天使たち)があなたを守る」というものです。

メンデルスゾーン(Felix Mendelssohn Bartholdy 1809-47)は、感情表現を重視するロマン派の中にあって、古典的なバランス感覚を失わず、音楽を形良く、秩序立てて組み立てようとする考え方を持っていました。この曲でも、そんな彼の特徴がよく出ていて、信仰を持つ人の安らかで平和な心の様子を繊細に、丹念に写し取っているかのようです。

また、ふつうは合唱の編成はソプラノ・アルト・テナー・バスの4声ですが、この曲はそれぞれがさらに2つに分かれる8部合唱となり、豊かで流麗な響きが繰り返られるのも聴きどころでしょう。

聖母マリアの肖像画

〔歌詞は旧約聖書・詩篇 91 番 11-12; ドイツ語〕

Denn er hat seinen Engeln befohlen über dir,
主はあなた〔神に身を寄せる人〕のために、御使いに命じられた。

dass sie dich behüten auf allen deinen Wegen,
あなたの道のどこにおいても守るように、と。

dass sie dich auf den Händen tragen
あなたをその両手にのせて運び、

und du deinen Fuß nicht an einen Stein stoßest.
あなたの足を石にぶつけないように、と。

聖母マリアの肖像画

(以下繰り返し)

第2ステージ

【男声合唱】

ジョスカン

「**オケゲムの死を悼む挽歌**」

ジョスカン、1500年頃

1497年2月6日、当代きっての作曲家・オケゲムが80歳を超える長寿を全うしました。彼はフランドル（現在のベルギーとフランス北部一帯）地方出身で、長らくフランス国王の宮廷に仕えていました。

彼の死は多くの人を悲しませました。詩人たちは嘆きの詩を、音楽家たちは追悼の歌を彼に捧げました。

その中でも傑出しているのが、作詞・モリネ (Jean Molinet 1435-1507)、作曲・ジョスカン (Josquin des Prés 1450頃 -1521) による作品です。5部合唱で進みますが、下から2番目、バリトンは別の歌詞、つまりラテン語で「永遠の安らぎを …」と歌っています。これはレクイエム、つまり死者のためのミサで歌われるものです。そしてそのメロディーも、中世以来の長い伝統をもつグレゴリオ聖歌に由来するものです。

ここで同郷の後輩ジョスカンが成し遂げていることは、伝統的な追悼の音楽（歌詞とメロディー）を骨格（定旋律といいます）に据えたうえで、新作の詩と曲で肉付けしている、ということです。その構成の見事さに、天国のオケゲムも感心したのではないのでしょうか。

ジョスカン、1500年頃

【歌詞はフランス語；斜体部はラテン語】

Nymphes des bois, déeses des fontaines,
森の妖精たちよ、泉の女神たちよ、

Requiem aeternam
永遠の安息を

Chantres experts de toutes nations,
諸々の国の熟練した歌い手たちよ、

dona eis
彼らに与えたまえ

Changez voz voix fort clères et haultaines
お前たちの明るく高い声を変えなさい、

En cris tranchants et lamentaions.
際立った悲しみの叫びに変えなさい。

Domine,
主よ、

Car d'Atropos les molestations
死の女神アトロポスにより苦を与えられ、

et lux perpetua
そして絶えざる光が

Vostre'Ockeghem par sa rigueur attrappe,
お前たちのオケゲムは冷酷にも捕らえられてしまったのだから。

Le vray trèsor de musique et chief d'oeuvre,
音楽の真の宝、傑作そのものである人が、

Qui de trépas dèsormais plus n'eschappe,
もはや死からは逃れられなくなってしまった。

luceat eis.
彼らを照らしますように。

Dont grant dommaige'est que la terre coeuvre.
土に覆われるとは何と大きな損失であることか。

Acoustrez vous d'habits de deuil:
喪服をまとえ、

Josquin, Brumel, Pierchon, Compère.
ジョスカン、ブリュームル、ピエール、コンパールよ（いずれもオケゲムの弟子・後輩）

Et pleurez grosses larmes d'oeil:
大いに涙せよ、

Perdu avez vostre bon père.
お前たちのよき父はいなくなってしまった。

（全パートで）***Requiescat in pace. Amen.***
安らかに眠られんことを願う。アーメン。

【歌詞はドイツ語】

【男声合唱】

ヴァーグナー

「**巡礼の合唱**」

長旅からようやく故郷に戻ろうとしている男たち。何年ぶりかに見る野山の光景に慰められ、疲れ果てた足をしばし休めて懐かしい気持ちで歌っています。

ただの長旅ではありませんでした。彼らは罪を犯し、教皇（ローマ法王）の許しを得るために巡礼に出ていたのでした。その辛い日々が思い出され、やがて歌も苦悩に満ちたものになります。

しかしその苦行ももうすぐ終わり。最後の力をふりしぼって神への感謝を捧げると、再び歩き始めます。

オペラ「タンホイザー」のなかの一場面ですが、巡礼者たちの心情の動きを音楽で見事に表している名曲です。特に中間部、半音ずつ変化していく和声はまさに際限のない苦悩を描ききっているといえます。

ちなみに、巡礼者一行のなかに主人公タンホイザー（歌合戦で騎士道に反し、世俗の愛を讃えたという罪を犯した）の姿を見出せなかった恋人のエリーザベトは落胆し、自らの命と引き換えに許しを乞おうと考えます。

さて、この曲の作曲者ヴァーグナー（Richard Wagner 1813-83）ほど、やりたい放題の人生を送れた人はいないのではないのでしょうか。自分専用の劇場（バイロイト祝祭劇場）まで作ってしまいました。「タンホイザー」でも、話の筋は中世以来の伝説から取材していますが、台本は自作です。つまり、脚本家兼音楽担当だったわけで、その精力的な活動ぶりには驚くばかりです。

ヴァーグナー、1842年頃

【歌詞はドイツ語】

Beglückt darf nun dich, o Heimat, ich schauen
うれしや、今ようやく、おおふるさとよ、お前をながめ、

und grüssen froh deine lieblichen Auen;
お前の美しい野原に喜ばしくあいさつすることができる。

nun lass ich ruhn den Wanderstab,
今しばし、旅の杖を休ませよう。

weil Gott getreu ich gepilgert hab!
神への巡礼を忠実に果たしたのだから。

Durch Sühn' und Buss' hab' ich versöhnt
償いと悔い改めによって、私は主と和解した。

den Herren, dem mein Herze fröhnt,
私の心は主のとりこになっている。

der meine Reu' mit Segen krönt,
私の悔悟を祝福でもって飾られる主、

den Herren, dem mein Lied ertönt!
その主に向かって私の歌は鳴り響く！

Der Gnade Heil ist dem Büsser beschieden,
恩寵による救済が、しょく罪者である私に分け与えられた。

er geht einst ein in der Seligen Frieden;
いずれ至福の安らぎに入っていく（死んでいく）だろうが、

Vor Höll' und Tod ist ihm nicht bang;
地獄も死も恐れるに足らず。

drum preis ich Gott mein Lebelang!
生ある限り、私は神を讃える！

Hallelujah! Hallelujah! In Ewigkeit!
ハレルヤ！永遠にハレルヤ！

Benjamin Britten

【女声合唱】

ブリテン「キャロルの祭典」より

Benjamin Britten

ブリテン (Benjamin Britten 1913-76) は20世紀イギリスを代表する作曲家です。「戦争レクイエム」といった大作のほか、多くの合唱曲を残しています。やはりイギリスは合唱の伝統が力強く脈打っている国であると感じさせられます。

本日のコンサートは真面目な曲が多いのですが、この「キャロルの祭典」は楽しい曲です。

クリスマスを素朴に祝う雰囲気か沸き立ってきます。本来はハーブ（今日はピアノ）が担当する魅力的な伴奏にのって、透明で伸びやかな女声合唱（イギリスでは少年合唱で歌われることが多いようです）が多様な表情を見せます。

Benjamin Britten

【歌詞は古い英語；斜体部はラテン語】

1. Procession 入場（退場も同じ歌詞・曲）

Hodie Christus natus est:
今日キリストがお生まれになった。

Hodie Salvator apparuit;
今日救い主が現れた。

Hodie in terra canunt angeli;
今日地上で天使たちが歌い、

Laetantur archangeli;
大天使たちは喜んでいる。

Hodie exsultant justi dicentes;
今日正しき者たちはこう言って喜ぶ、

Gloria in excelsis Deo. Alleluia!
「いと高き天には神に栄光あれ。アレルヤ！」

Benjamin Britten

2. Wolcum Yole ようこそクリスマス

Wolcum, Wolcum,
ようこそ、ようこそ、

Wolcum be thou hevenè king,
ようこそ、天国の王、

Wolcum Yole!
ようこそクリスマス！

Wolcum, born in one morning,
ようこそ、その朝（12月25日の朝）に生まれたお方、

Wolcum for whom we sall sing!
ようこそ、私たちが歌え讃える方、

<p>Wolcum be ye, Stevene and Jon, ようこそ、聖ステファンに聖ヨハネ (以下、26日以降の日に記念する聖人らの名前を挙げていき、日めくりをしている)</p>

<p>Wolcum, Innocentes every one, ようこそ、幼き殉教者たち、</p>

<p>Wolcum, Thomas marter one, ようこそ、殉教者トマス、</p>

<p>Wolcum be ye, good Newe Yere ようこそ、新年、</p>

<p>Wolcum Twelfth Day both in fere, ようこそ、顕現日、</p>
--

<p>Wolcum seintes lefe and dere. ようこそ、聖人たち。</p>
--

<p>Wolcum Yole! ようこそクリスマス!</p>

<p>Candelmesse, Queene of Bliss, キャンドルミサ (2月2日)、至福の女王 (1月1日)、</p>
--

<p>Wolcum bothe to more and lesse. どちらも誰もが歓迎します。</p>

<p>Wolcum be ye that are here, Wolcum Yole! ここにいる方、誰でも歓迎、ようこそクリスマス!</p>
--

<p>Wolcum alle and make good cheer. ようこそ皆さん、ごちそうを楽しもう。</p>

<p>Wolcum alle another yere, Wolcum Yole! ようこそ、新年、ようこそクリスマス! (教会暦では、クリスマスの季節は、12月24日から1月6日とされる)</p>
--

<p>There is no rose of such vertu これほどの徳のあるバラはない。</p>
--

<p>As is the rose that bare Jesu. イエスを生んだ (聖母マリアという) バラ。</p>

<p><i>Alleluia.</i> アレルヤ。</p>
--

<p>For in this rose containèd was このバラの中、小さな場所の中に</p>
--

<p>Heaven and earth in litel space 天地もろとも含まれていたとは、</p>

<p><i>Res Miranda.</i> 不思議なこと。</p>

<p>By that rose we may well see このバラのおかげでよくわかることは、</p>

<p>There be one God in persons three, 3つの格の中にひとりの神がいること (聖三位一体)。</p>

<p><i>Pares forma.</i> 等しい形。</p>

<p>The aungels sungen the shepherds to: 天使たちは羊飼いたちに向かってこう歌った、</p>
--

<p><i>Gloria in excelsis Deo.</i> [いと高き天には神に栄光あれ]</p>
--

<p><i>Gaudeamus.</i> 喜ぼう!</p>
--

<p>Leave we all this werdly mirth, 今われらは世俗のから騒ぎから離れて、</p>
--

<p>And follow we this joyful birth. この喜ばしい (キリストの) 生誕についていくのだ。</p>

<p><i>Transeamus.</i> キリストのもとへ行こう!</p>

<p><i>Alleluia. Res Miranda. Pares forma.</i> アレルヤ。不思議なこと。等しい形。</p>
--

<p><i>Gaudeamus. Transeamus.</i> 喜ぼう! キリストのもとへ行こう!</p>

<p>5. As dew in Aprille 4月の露</p>

<p>I sing of a maiden that is makèles: 私は歌う、比類ないおとめのことを。</p>

<p>King of all kings to her son she ches. 諸王中の王を、彼女は息子として選んだ。</p>
--

<p>He came also stille there his moder was, 彼は母のところ静かにやってきた、</p>

<p>As dew in Aprille that falleth on the grass. 4月の露が草原におりにように。</p>
--

<p>He came also stille to his moder's bour, 彼は母がいる馬小屋に静かにやってきた、</p>
--

<p>As dew in Aprille that falleth on the flour. 4月の露が花におりにように。</p>

<p>He came also stille there his moder lay 彼は母が横たわっているところに静かにやってきた、</p>
--

<p>As dew in Aprille that falleth on the spray. 4月の露が小枝におりにように。</p>
--

<p>Moder and mayden was never none but she: 母にしておとめ、彼女のほかには決していない。</p>

<p>Well may such a lady Goddes moder be. さよう、こんな女性であれば神の母にもなるであろう。</p>

<p>6. This little Babe この幼い子は</p>
--

<p>This little Babe so few days old この幼い子は、生まれてわずか数日、</p>
--

<p>Is come to rifle Satan's fold. 悪魔のとぐろを奪うためにやってきた。</p>

<p>All hell doth at his presence quake, 地獄は彼の出現に震える。</p>

<p>Though he himself for cold do shake; 幼子自身も寒さで震えるのだが。</p>
--

<p>For in this weak unarmèd wise 弱く、武器を持たないという賢さゆえに、</p>

<p>The gates of hell he will surprise. 地獄の門を驚かすことができる。</p>

<p>With tears he fights and wins the field, 涙ながらに戦って、陣地を勝ち取る。</p>
--

<p>His naked breast stands for a shield; 何も着けない胸が盾となり、</p>

<p>His battering shot are babish cries, 決定打は赤子らしい泣き声だ。</p>

<p>His arrows looks of weeping eyes; 彼の矢は、泣いて涙を流す視線で、</p>
--

<p>His martial ensigns Cold and Need, 寒さとひもじさが彼の戦いの旗印だ。</p>
--

<p>And feeble Flesh his warrior's steed. そして弱いからだだが軍馬となるのだ。</p>
--

<p>His camp is pitchèd in a stall, 彼の陣営は馬小屋に立てられ、</p>
--

<p>His bulwark but a broken wall; 彼の砦といえは、壊れた壁に過ぎない。</p>

<p>The crib his trench, haystalks his stakes, 馬槽 (まぶね) が塹壕、干草が杭柵、</p>
--

<p>Of shepherds he his muster makes; 羊飼いを集めて軍勢にする。</p>

<p>And thus, as sure his foe to wound, こうして、確かに敵は傷つき、</p>
--

<p>The angels' trumps alarum sound. 天使のラッパが鳴り響く。</p>

<p>My soul, with Christ join thou in fight, 私の魂よ、キリストと一緒に戦うのだ、</p>

<p>Stick to the tents that he hath pight; 彼が張ったテントにびったり着いて。</p>
--

<p>Within his crib is surest ward, 彼の馬槽こそ、最も保護される場所だ。</p>
--

<p>This little Babe will be thy guard; この幼子はお前を守るであろう。</p>

<p>If thou wilt foil thy foes with joy, 敵を撃退して喜びたいのであれば、</p>

<p>Then flit not from this heavenly boy. この天の子どもから離れるな。</p>
--

<p>10. Deo Gracias 神に感謝</p>

<p><i>Deo Gracias! Deo Gracias!</i> 神に感謝! 神に感謝!</p>
--

<p>Adam lay ibounden, bounden in a bond, アダムは縛られている、かせを嵌められている、</p>
--

<p>Four thousand winter thought he not too long. 4千回もの冬も、彼に長すぎるとは思えない。</p>

<p><i>Deo Gracias! Deo Gracias!</i> 神に感謝! 神に感謝!</p>
--

<p>And all was for an appil, すべてはリンゴのせいだった。</p>
--

<p>An appil that he tok, 彼が取った一個のリンゴ。</p>
--

<p>As clerkès finden written in their book. 学のある人は聖書にそう書いてあるのを見出せよう。</p>

<p><i>Deo Gracias! Deo Gracias!</i> 神に感謝! 神に感謝!</p>
--

<p>Ne had the appil takè ben, もしリンゴが取られなかったら、</p>
--

<p>Ne haddè never our lady 聖母マリアもいなかっただろう。</p>

<p>A ben hevenè quene. 天の女王もいなかっただろう。</p>
--

<p>Blessed be the time 祝福しよう、</p>
--

<p>That appil takè was. リンゴが取られたそのときを。</p>

<p>Therefore we moun singen, だからこう歌うのだ、</p>
--

<p><i>Deo Gracias! Deo Gracias!</i> 神に感謝! 神に感謝!</p>
--

<p>11. Recession 退場 (入場と同じ歌詞・曲)</p>
--

第3ステージ

パレストリーナ

「教皇マルチェルスのみサ」より

パレストリーナ (Giovanni Pierluigi da Palestrina 1525 頃 -94) はイタリアの作曲家で、オケゲムやジョスカンたちによって培われてきたルネサンス期の音楽の「技」をビクトリアらとともにまとめあげた人物です。

この時代は音楽=無伴奏（アカペラ）合唱と考えて差し支えありませんので、技とは結局のところ、いかに見事な合唱曲を作り上げるか、ということに尽きます。

たとえば、より精密に、緻密に音を組み立てていくという技。あるいはまた、アイディア勝負というのでしょうか、元からあった歌を素材にして、別の新しい曲を作るといった技。そう、前のステージのジョスカンの作品がまさにそうでした。

ところがここで困った問題が出てきました。歌詞がよく聞き取れない。作曲家は音の遊びにふけり、歌詞を伝えるという肝心な使命を忘れている——こんな批判の声に直面したのが、パレストリーナたちの世代でした。

そしてついには教皇（ローマ法王=ローマ・カトリック教会における最高の指導者）マルチェルス2世が、就位早々、パレストリーナもメンバーとして歌っていた聖歌隊の歌を聴いて、「礼拝の内容に応じて声を使うべきであり、さらに、聴いていてよく解るように音楽が作られるべきだ」と諭しました。1555年4月12日、キリストの受難を記念する聖金曜日のことでした。教皇はその後、5月1日に亡くなりました。在位期間わずか3週間でした。

パレストリーナには教皇の言葉が自身に向けられた遺言あるいは宿題のように感じられたのかもしれませんが。教皇没後7年にあたる1562年に作曲されたと推定される「教皇マルチェルスのみサ」は、教皇からの宿題に対する模範解答の趣があります。

声部数は6つ。壮麗で量感豊かな音の響きが楽しめます。

2. Gloria in excelsis Deo

ポイントは歌詞の分量が多い第2曲 Gloria (グロリア)。楽譜を見ると、上のパートから下のパートまで、縦にリズムがそろっています。いっせいに同じ歌詞が発音されるので、くっきりと耳に聞こえます。

反面、歌詞が少ない第1曲 Kyrie (キリエ) や(本日の)第3曲 Sanctus (サンクトゥス) では、歌詞を犠牲にすることなく、それぞれのパートが朗々と歌い、音の綾が繰り返げられます。

このようにして、パレストリーナは、音楽そのものの美しさ・面白さと、歌詞をはっきりと伝えるという、音楽に課せられた役目とが両立する技を打ち立てることに成功しました。後世の人々は、彼の作品こそが教会音楽の理想であると考えようになりました。

3. Sanctus / Benedictus

「歌詞はラテン語」

1. Kyrie

Kyrie eleison:

主よ、あわれみたまえ。

Christe eleison:

キリストよ、あわれみたまえ。

Kyrie eleison.

主よ、あわれみたまえ。

2. Gloria in excelsis Deo

Gloria in excelsis Deo. (先唱=元来は司祭が唱える部分)
天のいと高きところには神に栄光

Et in terra pax hominibus bonae voluntatis.
地には善意の人に平和あれ。

Laudamus te. Benedicimus te. Adoramus te.
われら主をほめ、主をたたえ、主をおがみ、

Glorificamus te.

主をあがめ、

Gratias agimus tibi propter magnam gloriam tuam.
主の大いなる栄光のゆえに感謝したてまつる。

Domine Deus, Rex coelestis, Deus Pater omnipotens.
神なる主、天の王、全能の父なる神よ。

Domine Fili unigenite, Jesu Christe.
主なる御ひとりごイエズス・キリストよ、

Domine Deus, Agnus Dei, Filius Patris.
神なる主、神の小羊、父の御子よ、

Qui tollis peccata mundi, miserere nobis.
世の罪を除きたもう主よ、われらをあわれみたまえ。

Qui tollis peccata mundi,
世の罪を除きたもう主よ、

suscipe deprecationem nostram.
われらの願いを聞き入れたまえ。

Qui sedes ad dexteram Patris, miserere nobis.
父の右に座したもう主よ、われらをあわれみたまえ。

Quoniam tu solus sanctus. Tu solus Dominus.
主のみ聖なり。主のみ王なり。

Tu solus altissimus, Jesu Christe.
主のみいと高し。イエズス・キリストよ。

Cum Sancto Spiritu in gloria Dei Patris.
聖霊とともに、父なる神の栄光のうちに。

Amen.
アーメン。

3. Sanctus / Benedictus

Sanctus, Sanctus, Sanctus Dominus Deus Sabaoth.
聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の神なる主。

Pleni sunt coeli et terra gloria tua.
主の栄光は、天と地とに満ちている。

Hosanna in excelsis.
いと高きところに、オザンナ!

Benedictus qui venit in nomine Domini.
祝福あれ、主の御名によって来られる方に。

Hosanna in excelsis.
いと高きところに、オザンナ!

第4ステージ

覚和歌子の詩による混声合唱曲集
「等圧線」

等圧線

青くなんかなかった
ただまぶしすぎるだけ
大きくなんかなかった
ただ途方もないだけ

はじめての海
生まれてはじめて見る
これはわたしの海

ありがとうに似てるけど
泣きたいような気持ち
ごめんなさいに似てるけど
いてもたってもいられない気持ち

はじめての海
みんなのものだけれど
これはわたしの海

台風が近づいて
得体の知れない波音が
胸の奥からもりあがる

はじめての海
誰のものでもないけど
これはわたしだけの海

いつかわたしはわたしへと
船出する

からだ

うたを歌うための声だろう
演説するための声でなく
歌にすませるための耳だろう
何もかもを聞き逃さないための耳ではなく
いとしい耳たぶをそっとなぞるための指だろう
おいつめるためにさす指ではなく

ただ ダンスのための手足だろう
何かにしがみつための
ナイフを握るための手ではなく
かかえこむための膝ではなく
踏みつけるためのかかとでなく

空に立てた指に 風を感じるための皮膚だろう
花びらをうけとめるための両肩だろう
キスされるためのくちびるだろう
キスされるための頬だろう

ひとつひとつが
まちががなく役割どおりに使われて
はじめて 生かされるからだだろう

朝焼けを見るための あなたの瞳だろう
たとえどんなに この夜が長く続くとしても

『ゼロになるからだ』徳間書店 所収
※下線部は、曲中では「かかとではなく」に変更しました。
※二重下線の部分は作曲されていません。

F

新しいノートの 表紙ひらくとき
白いページは パルプの匂い
新しいノートは すべての言葉
初雪の朝に あける窓

Fの鉛筆を 並べてはけずる
Fの鉛筆は たとえば未来
Fの鉛筆にしか 書けない言葉
Fではじまる ひとつの名前

図書館の午後は 水の中の国
止まないあくび あぶくにかわる
いつもの席の 窓からながめてる
靴のかかと踏んで 帰る背中

四角い消しゴムで 消したい言葉
私という漢字と句読点
四角い消しゴムで 消したい言葉
書きたい言葉と おなじ数の

『海のような大人になる』理論社 所収
※二重下線の部分は作曲されていません。

リフレイン

くりかえし 咲くつぼみ
くりかえし 実る枝

くりかえし つもる雪
くりかえし とける雪

来る年も 来る年も
そのたびに はじめまして
そのたびに なつかしい

くりかえし 寄せる波
くりかえし 返す波

くりかえす 雨の音
くりかえす 夕映え空

明くる日も 明くる日も
似てるけど 似てるだけ
どれだって ひとつきり
くりかえし うたう鳥
くりかえし まわる星

くりかえし 見つめ合い
くりかえし すきと言う

何度でも くりかえす
このときは たったいま
このいまは いちどだけ

『海のような大人になる』理論社 所収
※二重下線の部分は作曲されていません。



常任指揮者 宍戸 真市

福島県福島市出身。1999年、国立音楽大学音楽教育学科音楽教育専修を首席で卒業。岡本賞受賞。ピアノを内海咲子、小林美樹、岡田隆郎、声楽を伊藤勲、砂川稔、渡辺多津彦、指揮を今村能、小塚類の各氏に師事。

2006年、湯本高等学校に赴任。4年間、同校合唱部の指導にあたる。

2007年、福島県合唱連盟60周年記念青少年合唱団のバスパートリーダーを歴任。プラハ・ウィーン（アルテンブルク、シェーンブルン宮殿礼拝堂）・ザルツブルクの各コンサート、ミサでバスソロを担当した。

2010年、安積黎明高等学校に赴任。同校合唱団を指揮し、全日本合唱コンクール全国大会で4年連続金賞（2011年 文部科学大臣奨励賞）受賞、NHK全国学校音楽コンクールで金賞・内閣総理大臣賞・文部科学大臣奨励賞を1回受賞した。また、同校クラシック部（弦楽合奏）を指揮し、全国学校合奏コンクール全国大会で奨励賞を受賞している。

2012年、安積合唱協会を指揮し、第65回全日本合唱コンクールで銅賞を受賞している。現在、福島県合唱連盟事務局次長、福島楽友協会合唱団事務局長、安積合唱協会常任指揮者。



ヴォイストレーナー 紅林 美枝

山形大学大学院教科教育専攻音楽教育専修声楽分野修了。二期会オペラスタジオ 第45期マスタークラス修了。1995年山形ジュニア音楽コンクール金賞グランプリ受賞。1996年日本クラシック音楽コンクール奨励賞受賞。2001年ソレイユ音楽新人オーディション合格。2003年ウィーン秋期特別アカデミー修了。

「山形交響楽団ニューイヤーコンサート」「二期会新進声楽家の夕べ」「ベーゼンドルファー・ザール（ウィーン）コンサート」「楽都郡山ここに響くハーモニー事業「四季の風コンサート」」等に出演。またコールOMG（秋田県大館市）、安積黎明高等学校合唱団、安積合唱協会等、数々の団体の演奏会等にアルトソリストとして出演している。

声楽を渡部昭子、藤野祐一、藤野恵美子、野村陽子、オルガ・ワルラ・コロの各氏に、ピアノを長谷川牧子、小野崎通男の各氏に師事。

現在、郡山市内にて音楽教室を主宰。二期会会員。



ピアニスト 橋本 絵美

福島県郡山市出身。国立音楽大学附属音楽高等学校、および同大学器楽学科ピアノ専攻卒業。ピティナヤングピアニストコンペティションD級銅賞、同デュオ部門特級全国決勝大会入選。大学卒業後、ドイツのドレスデンにて研鑽を積み、現在は福島県内で後進のピアノ指導にあたる。

これまでにピアノを加藤智子、進藤桃子、山本万里子、デッドレフ・カイザーの各氏に師事。ソロ、合唱伴奏・アンサンブルにも積極的に参加。

橋本ピアノ教室（<http://www.mio-piacere.com/>）、会津大学短期大学部非常勤講師。

安積合唱協会は、1992年に結成された混声合唱団です。現在、メンバーは福島県内だけでなく県外在住者もあり、年齢や職種も様々です。毎年、新しい会員も加わり、各パートとも声に厚みが増し、表現の幅も広がってきました。

これまで、中世・ルネッサンス、バロック時代の「古楽」と呼ばれる教会音楽や世俗作品の名作に積極的に取り組みながら、過去3回の海外公演や、2006年の結成15周年にはモーツァルトの「レクイエム」の演奏も行いました。

2011年2月、常任指揮者として宍戸真市氏をお迎えし、月1～2回程度の定期練習を基本として、古楽の魅力である「優れた音律（チューニング）」と「各声部の完璧な調整（ブレンド）」を目指し、紅林美枝氏の発声指導のもとで、各種演奏会、コンクールなど幅広く活動しています。2012年11月には、富山市で開催されました全日本合唱コンクール全国大会に初めて出場し、銅賞を受賞しました。

2013年2月には結成20周年にあたりアマデウス室内管弦楽団（郡山市）、ソリストに杉原かおり氏（ソプラノ）、小原一穂氏（バリトン）をお迎えしフォーレの「レクイエム」の演奏を行いました。

また、3月には、震災からの復興を祈念し京都府長岡京市で開催された Harmony for JAPAN 2013に参加し、福島から歌声を届けると共に関西の合唱団との交流も行いました。

会員全員が、「演奏を通じて音楽の素晴らしさを伝えること」、そして「歌うことが好きな者にとって最高の合唱団であること」という目標に向かって楽しみながら活動しております。

今回は、様々な時代の名曲を演奏するプログラムとなり、私たちの新しい挑戦のステージとなりますが、どうぞ最後までお楽しみください。



第65回全日本合唱コンクール東北支部大会 仙台市泉文化創造センター（イズミティ21）2013年9月29日(日)

役員

理事長	曳地 利光	ソプラノパートリーダー	古山 香織
副理事長	浦部 真平	アルトパートリーダー	室井 朋子
指揮	古山 香織	テノールパートリーダー	渡邊 佳文
	室井 朋子	バスパートリーダー	浦部 真平
	佐藤 優子	ソプラノパートマネージャー	持田 円
	塩井 和歌子	アルトパートマネージャー	櫻村 貴久子
総務担当理事	古川 隼斗	テノールパートマネージャー	山内 幸彦
人事担当理事	渡部 宣子	バスパートマネージャー	武藤 克則
経理担当理事	斎藤 由紀夫		
企画担当理事	鈴木 幸恵		
監事	浦部 智子		
事務局長	金成 聡司		

役 員	ソプラノ	古山 香織	渡部 宣子	佐藤 優子	浦部 智子	加藤 順子	数馬 雅子	
		持田 円	橋本 楓	柳沼 文音	三瓶 葵	穴戸みゆき		
	アルト	室井 朋子	矢野 夏子	檜村貴久子	鈴木 幸恵	山本 清子	塩井和歌子	
		船引 彩子	千葉由佳子					
	テノール	渡邊 佳文	金成 聡司	曳地 利光	和田 裕	山内 幸彦	古川 隼斗	
		齋藤由紀夫	仁井 敏昭	會田 喜樹	酒井 道宏	渡邊 勉		
	バス	浦部 真平	千葉 真実	六角 弘通	武藤 克則	渡辺 均	桑原 一夫	
		志賀 一郎	影山 洋一	狩野 宙也				

解説・対訳

酒井 道宏

高校在学中、高麗正宣氏より音楽世界に導かれる。その後、音楽の理論面（音楽史、美学芸術学、表象文化論）を戸口幸策、皆川達夫、海老澤敏ほか諸氏に、実践面（声楽、解釈法、指揮法）を宮下正、前田幸市郎、大谷研二ほか諸氏に師事。さまざまな合唱団からの依頼を受けて歌詞対訳や解説を手がけるなど、合唱音楽の理論と実践を掘り下げて融合させることをライフワークとして活動中。

安積合唱協会のあゆみ

1992(平成 4)年	5月	設立総会
1993(平成 5)年	3月	第1回 定期演奏会(安積歴史博物館講堂)
	12月	第2回 定期演奏会(安積歴史博物館講堂)
		第1回 海外公演(ウィーン、ザルツブルク、ミュンヘン)
1995(平成 7)年～2000(平成12)年	3月	第3回～第8回定期演奏会(郡山市内)
1999(平成11)年	1月	第2回 海外公演(マルセイユ、ラシオタ、アヴィニョン)
1999(平成11)年～2000(平成12)年		福島県合唱コンクール及び全日本合唱コンクール東北支部大会出場(銀賞受賞)
2000(平成12)年	3月	特別公演(会津若松市・会津アピオ内(株)共立土建コンサートホール)
2001(平成13)年	3月	第9回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール)
	9月	第55回 福島県合唱コンクール(福島市音楽堂大ホール) 金賞
		第54回 全日本合唱コンクール東北支部大会(盛岡市民文化ホール大ホール) 金賞
	12月	第10回 定期演奏会(郡山カトリック教会)
2002(平成14)年	9月	第56回 福島県合唱コンクール(矢吹町文化センター大ホール) 金賞
		第55回 全日本合唱コンクール東北支部大会(青森市文化会館大ホール) 銀賞
2003(平成15)年	1月	第11回 定期演奏会(郡山カトリック教会)
	8月	第57回 福島県合唱コンクール(いわき市市民会館大ホール) 金賞 高野賞
	9月	第56回 全日本合唱コンクール東北支部大会(秋田県民会館大ホール) 銅賞
2004(平成16)年	1月	第12回 定期演奏会(郡山カトリック教会)
	8月	第58回 福島県合唱コンクール(原町市民文化会館大ホール) 金賞
	9月	第57回 全日本合唱コンクール東北支部大会(山形県民会館大ホール) 銀賞
	11月	やまぐち県民文化祭アカペラフェスティバル招待演奏(秋吉台国際芸術村ホール)
		海外公演記念演奏会(福島市音楽堂大ホール)

	12月	第13回 定期演奏会(郡山カトリック教会)
		第3回 海外公演(アイゼンシュタット、フォラウ)
2005(平成17)年	3月	法政大学アカデミー合唱団福島公演賛助出演(福島市音楽堂大ホール)
	8月	第59回 福島県合唱コンクール(喜多方プラザせせらぎホール) 金賞 三浦賞 福島県教育長賞
	9月	第58回 全日本合唱コンクール東北支部大会(郡山市民文化センター大ホール) 銀賞
	12月	第14回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール)
2006(平成18)年	9月	第60回 福島県合唱コンクール(福島県文化センター大ホール) 金賞
	10月	第59回 全日本合唱コンクール東北支部大会(名取市文化会館大ホール)銀賞
	12月	第15回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール)
2007(平成19)年	9月	第61回 福島県合唱コンクール(郡山市民文化センター大ホール) 金賞
		平成19年度 全日本合唱コンクール東北支部大会(青森市文化会館大ホール)金賞
	12月	第16回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール)
		第24回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)金賞
2008(平成20)年	3月	第1回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島市音楽堂大ホール)銀賞
	6月	郡山市民合唱団定期演奏会賛助出演(郡山市民文化センター中ホール)
	8月	第62回 福島県合唱コンクール(南相馬市文化会館大ホール)金賞
	9月	第60回 全日本合唱コンクール東北支部大会(岩手県民会館大ホール)金賞
	12月	平FG合唱団定期演奏会賛助出演(いわき芸術文化交流館アリオス音楽小ホール)
		第25回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)金賞
2009(平成21)年	3月	第2回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島市音楽堂大ホール)銀賞
	6月	第17回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール)
	8月	第63回 福島県合唱コンクール(いわき芸術文化交流館アリオス大ホール)銀賞
	9月	第61回 全日本合唱コンクール東北支部大会(秋田県民会館大ホール)銀賞
	12月	第26回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)金賞
2010(平成22)年	6月	第18回 定期演奏会(郡山市民合唱団賛助出演)(郡山市民文化センター中ホール)
	8月	第64回 福島県合唱コンクール(福島市音楽堂大ホール)銀賞
	9月	第62回 全日本合唱コンクール東北支部大会(山形県民会館大ホール)銀賞
	12月	第27回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)銀賞
2011(平成23)年	7月	第27回 宝塚国際室内合唱コンクール(宝塚ヴェガホール)総合3位(ルネサンス・バロック部門金賞)
	8月	第65回 福島県合唱コンクール(會津風雅堂大ホール)金賞
	9月	第63回 全日本合唱コンクール東北支部大会(岩手県民会館大ホール)金賞
	12月	第28回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)銀賞
2012(平成24)年	2月	第19回 定期演奏会(三春交流館「まほら」まほらホール)
	3月	希望の歌声合唱フェスティバル2012(いわき芸術文化交流館アリオス大ホール)
		第5回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島市音楽堂大ホール)優良賞
	7月	第28回 宝塚国際室内合唱コンクール(宝塚ヴェガホール)ルネサンス・バロック部門銀賞、ロマン派部門銅賞
	9月	第66回 福島県合唱コンクール(郡山市民文化センター大ホール)金賞
		第64回 全日本合唱コンクール東北支部大会(郡山市民文化センター大ホール)金賞
	11月	第65回 全日本合唱コンクール全国大会(富山市芸術文化ホール オーバードホール)銅賞
	12月	第29回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)銀賞
2013(平成25)年	2月	第20回 定期演奏会(郡山市民文化センター中ホール)
	3月	Harmony for JAPAN 2013(京都府長岡京市文化会館)
		第6回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島市音楽堂大ホール)優良賞
	7月	第29回 宝塚国際室内合唱コンクール(宝塚ヴェガホール) ルネサンス・バロック部門銀賞
	9月	第67回 福島県合唱コンクール(いわき芸術文化交流館アリオス大ホール)銀賞
		第65回 全日本合唱コンクール東北支部大会(宮城県仙台市イズミティ21)金賞
	11月	第3回 ハーモニーコンサート(郡山市民文化センター大ホール)
	12月	第30回 福島県声楽アンサンブルコンテスト(福島市音楽堂大ホール)銅賞

**賛助会員
個人**
(50音順・敬称略)

佐藤 禮子 1口	鈴木 哲史 2口	渡部 芳雄 1口
佐藤 寿子 2口	羽田 奈恵子 2口	渡部 京子 1口
鈴木 哲弥 1口	曳地 利男 2口	

**賛助会員
団体**
(敬称略)

ダイハツ福島株式会社	1口
カフェ「オレンジペコ」	1口



■ 事業内容

設備	清掃	建築	警備
◎電気・空調・給排水・消防 ◎情報通信・搬送・工事診断	◎日常メンテナンス ◎定期メンテナンス ◎特別メンテナンス	◎新築工事 ◎リフォーム&リニューアル ◎建物調査診断 ◎建築資機材の販売 ◎不動産事業	◎施設警備 ◎交通誘導雑踏警備 ◎機械警備・巡回警備 ◎保安警備
サービス	マンション管理	ホテル・旅館	駐車場
◎インフォメーション ◎スポーツ施設管理	◎基幹事務管理 ◎管理員業務 ◎維持管理業務	◎客室整備・パブリック ◎フロント業務	◎駐車場管理 ◎駐車場運営
環境衛生	資産運営管理	太平遠隔管理システム	その他
◎ビル衛生管理 ◎病院衛生管理 ◎廃棄物処理	◎プロパティマネジメント ◎ビルマネジメント ◎ビルコンサルティング サービス	◎TaRMS	◎人材派遣 ◎医療補助業務 ◎造園及び植栽



全国どこでも太平ビルサービスへ
いつでもお気軽にお電話ください。▶全国営業網

B 太平ビルサービス株式会社
郡山支店

〒963-8014 福島県郡山市虎丸町21-10 EME郡山ビル2F
電話番号 024-933-0728 FAX番号 024-933-5754
ホームページ <http://www.taihei-bs.co.jp/>

～心ふれあう地域医療をめざして～



医療法人社団 恵周会

白河病院

〒961-0092 福島県白河市六反山10番地1
TEL 0248-23-2700

■診療受付時間 平日午前 8:30～11:30
土曜 8:30～11:00
※日・祝祭日及び時間外は救急外来のみ診療となります。

診療科目

循環器内科・心臓血管外科・内科・消化器内科・
脳神経外科・整形外科・腎臓内科

地域がん診療連携拠点病院 指定(H22)



坪井病院

郡山市安積町長久保1-10-13
☎024(946)0808

坪井診療所

郡山市駅前1丁目12-3
☎024(923)5121

JA 福島厚生連 白河厚生総合病院

〒961-0005 福島県白河市豊地上弥次郎 2-1 TEL (0248) 22-2211 FAX (0248) 22-2218
URL <http://www.shirakawa-kosei.jp>

【受付時間】8:00～11:30 【休診日】日曜日、祝日、第1・第3土曜日、8月16日、12月30日～1月3日

～PET-CT がん検診を実施しております～

- しらかわ訪問看護ステーション
- 居宅介護支援事業所
- 農村健診センター
- 附属高等看護学院
- PET 画像診断センター

JA 福島厚生連 救急病院 塙厚生病院

院長 佐川 恵一

〒963-5493 福島県東白川郡塙町大字塙字大町1丁目5 TEL (0247)43-1145 FAX (0247)43-3394

はなわ訪問介護ステーション TEL (0247)43-0073 FAX (0247)43-3394

塙厚生病院居宅介護支援事業所 TEL (0247)43-1105 FAX (0247)43-3394

介護老人保健施設「久慈の郷」 TEL (0247)43-1101 FAX (0247)43-2520

すっともっとふくしま



プライバシーマーク取得・JapanColor標準印刷認証取得
グリーンプリンティング認定(本社・本社工場)

株式会社 **日進堂印刷所**

■本社・工場 〒960-2194 福島市庄野字柿場1-1(福島西工業団地)
TEL (024) 594-2211代 FAX (024) 594-2041

■支社 郡山・仙台・東京

<http://www.nisshindo.co.jp/>

日進堂グループ 株式会社 進和クリエイティブセンター
株式会社 エス・シー・シー



ハーモニーのあるデザインを皆様へ

Shinwa Creative Center

ふれあいの心をそだてる

株式会社 **進和クリエイティブセンター**

企画プランニング、デザイン、コピーライティング、編集、取材執筆、撮影、
イラストレーション、外国語翻訳、テープ起こしリライト、各種広告物、POP、
出版・刊行物の企画・編集・制作、各種映像ソフトの企画・制作、CI計画

〒960-2194 福島市庄野字柿場1-1 TEL (024) 594-2145 FAX (024) 594-2147

URL <http://www.nisshindo.co.jp/cc/>

azbil

人を中心としたオートメーション

建物から社会へ、地球環境へ

アズビル株式会社

ビルシステムカンパニー 福島営業所 024-935-7860

〒963-8014 福島県郡山市虎丸町 2-11 郡山虎丸町第一生命ビル
http://www.azbil.com/jp/

株式会社から社名を変更いたしました。

福島の今を届け
そして未来へ——



福島民報社

本社 福島市太田町13-17 ☎(024)531-4111代
URL <http://www.minpo.jp/>



院長 大野 広衛

〒963-8844 福島県郡山市字賀庄 54-1
TEL 024-937-3775 FAX 024-937-3776
e-mail koei@safins.ne.jp

Hiroshi Kazuma
Internal Medicine and Cardiology Clinic

かずま医院

内科/循環器科/呼吸器科/外科

医学博士 数馬 博

〒963-8862 郡山市業根一丁目15-2 Tel.024-934-7750

[診療時間]

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	●	●	●	●	●	●
午後 3:00~7:00	●	●	午後 休診	●	●	●

休診日/日曜・祝祭日、水曜午後



カラダうるおす ふわりしみたむ
ポカリ Sweat Ion Water
カロリーゼロ

POCARI SWEAT ION WATER

歌
い
ま
せ
ん
か
!!



安積合唱協会 会員募集のご案内

私たちは、中世・ルネッサンス、バロック時代を中心とした知られざる名曲を発掘し、美しく甘い教会音楽の響きを味わい、純度の高い緻密で精確な歌唱技法と、魅力に溢れた、厳格で明快なフレーズを求めようと県内外各地から集い、懇親を深め、合唱活動を行う「一般の合唱団」です。

古楽の魅力と美しさ…
優れた音律(チューニング)と、各声部の完璧な調整(ブレンド)を、
私たちと一緒に追いかけてみませんか?
合唱を愛する方、どうぞお気軽に見学にお越しください。



第29回宝塚国際室内合唱コンクール ルネサンス・バロック部門 銀賞(平成25年7月)

第65回全日本合唱コンクール東北支部大会 金賞 混声3位(平成25年9月)

- 主な演奏活動/定期演奏会、合唱コンクール、海外公演、特別公演等
- 練習日程/月に1回程度(日曜日)9:30~17:00
- 練習場所/郡山市内公民館等

詳細や、入会・見学のお問い合わせは下記事務局までどうぞ!

●お問い合わせ **安積合唱協会事務局** TEL **090-3640-4322** (金成)

E-mail asaka-1992@kpe.biglobe.ne.jp

URL <http://www7b.biglobe.ne.jp/~asaka/>

ASAKA Chorverein

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~asaka/>